群馬県地域リハビリテーション支援センター

ニュースレター　43号　　2024.12.12

第 22 回群馬地域リハ研究会のお知らせ

【 日　時 】　令和7年2月15日(土)14:00～15:55(受付開始13:30)
【 会　場 】　群馬大学昭和キャンパス西棟 3 階大講義室(前橋市昭和町 3-39-22)
【 参 加 費 】　無料
【単位(予定)】　日本理学療法士協会:登録理学療法士　区分 2 チーム医療・多職種連携　1.5 ポイント
日本作業療法士協会:基礎研修ポイント自由選択 1 ポイント
日本言語聴覚士協会:生涯学習プログラム 1 ポイント
【 講　演 】

14:05～15:35 **「地域で活動するリハビリテーション関連職種に求めること　～看護の立場から～」**
講師　高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科　教授　梅原里実先生

皆さまは、2022 年に厚生労働省が発表した「介護が必要になった原因」の第 1 位をご存じでしょうか？答えは認知症です。また、認知症は転倒の危険因子でもあります。認知症の症状に起因した転倒・骨折により要介護状態が悪化することも少なくありません。さらに、認知症施策推進大綱と、共生社会の実現を推進するための認知症基本法では、地域における認知症との共生に向けた取り組みについて言及されています。これらの背景から、地域で活動するリハビリテーション専門職には、認知症に関する知識を深めることが求められます。そして、知識を深めるだけでなく、その知識を活用して、地域で実践できるようにすることが重要です。一方、認知症専門医や認知症看護認定看護師などと比較して、認知症を専門とするリハビリテーション専門職は少ない印象があります。これらの専門職と認知症に関する知識の差が生じると、円滑な多職種連携に支障をきたすことが懸念されます。そこで、認知症看護認定看護師や転倒予防指導士の教育に長く携わられてきた、高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科教授の梅原里実先生をお招きして、看護師の立場から地域で活動するリハビリテーション専門職に求めることを提言していただきます。

15:35～15:55 **「今後の群馬県の災害リハビリテーションについて」**
講師　群馬県地域リハビリテーション支援センター長　山路雄彦

【お申込方法】　申込みフォーム　https://www.grsc.biz/entry.php　よりお申込みください。
お申込期限:令和7年 2 月 11 日まで(定員に達するまで)
TEL/FAX/e-mail　でのお申込みは承っておりません。

【駐車場案内】　群馬大学駐車場をご利用の方は、研究会場受付で駐車券を認証機へ通していただくと、駐車料金の上限額は 200 円となります。(無料にはなりません。)

【会場アクセス、その他詳細】 群馬県地域リハビリテーション支援センターHP をご覧ください。
https://www.grsc.biz/

【お問合せ】　群馬県地域リハビリテーション支援センター
TEL/FAX　027-220-8966
e-mail　tsunoday@gunma-u.ac.jp

「第 26 回日本訪問リハビリテーション協会学術大会 in 群馬」について

第 26 回日本訪問リハビリテーション協会学術大会　大会長　新谷和文

訪問リハビリテーションの普及・発展にご尽力を賜り感謝申し上げます。

昨年もこのニュースレターでお伝えした「第 26 回日本訪問リハビリテーション協会学術大会 in 群馬」の詳細が決定してきました。是非ともご参加頂きたくご紹介します。

【開催日】2025 年 6 月 7 日（土）～6 月 8 日（日）

【 会場 】 Gメッセ群馬

【テーマ】地域創生　～訪問リハビリテーションの立場らから誰もが暮らしやすい街を～

今回の大会の目玉についていくつかご紹介します。

① 大会ポスター：大会の運営は群馬県POS連絡協議会です。山路会長に相談役となってもらい、大会ポスターの写真を撮って頂きました。大会テーマである「地域創生」をイメージし、赤城山から見える朝日となっています。

② 大会開催は 2025 年です。地域包括ケアシステムの完成年です。厚労省の方に「地域包括ケアシステムの深化」について講演をお願いしています。また、リハ職として大阪大東市の市長になられた逢坂伸子市長に「リハ職が考える誰もが暮らしやすい街づくり」の講演を頂きます。また、「認知症の方に優しい街づくり」のシンポジウムも開催し、訪問リハビリの地域創生への役割を再考いたします。

③ 「地域貢献」「訪問リハビリテーションのより良い制度」についての講演およびシンポジウム。新たな試みとして、転倒予防という同じ課題を有している「転倒予防学会との交流セミナー」も企画しています。他にも、研究支援のセミナーやご当地企画セミナーとして、高崎市からの発信セミナーを全国へ向けて活動報告をいただきます。

④ 皆さん誰もが切実な課題となっている「お金」に関するセミナーをご用意しました。是非皆さんの人生設計にお役立てください。

⑤ 今回は能登半島の激震災害（地震・大雨災害）を応援するセミナーを企画しました。大会が黒字となれば、全額能登へ寄付をさせていただきます。

⑥ 3300 名収容の大ホールで、機器展示・書籍販売・ポスター発表・交流コーナーなど一部屋で行えるよう致しました。

他にも教育講演・ランチョンセミナーなどたくさんの魅力的な企画をご用意しています。

演題募集は 2025 年 1 月 21 日が締め切りとなっています。発表者は当協会会員に限られます（共同演者は誰でも可）が、多くの演題登録をお願いします。

全国から多くの方が来ます。是非ともご参加頂けるよう心よりお待ちしております。

【詳細/お問合せ先】　https://g-regi.jp/houmongunma25/

富岡甘楽地域リハビリテーション広域支援センター活動報告

公立七日市病院　理学療法士　渡辺真樹

富岡甘楽地域（富岡市、甘楽町、下仁田町、南牧村）では、昨年度まで当院のスタッフのみで介護予防事業、地域ケア会議等を対応してきました。今年度より圏域内の支援施設である、公立富岡総合病院、下仁田厚生病院の協力をいただきながら事業分担を行なっているのが、大きな特徴かと思います。具体的には、公立富岡総合病院は甘楽町を担当、下仁田厚生病院は当院と業務引き継ぎを行いながら下仁田町を担当していただいています。当院は富岡市と南牧村を担当しています。

この事業分担に至るまでは、平成 27 年から始めた圏域内のリハビリテーション専門職を対象とした研修会の開催がありました。年2～3 回の開催で、施設紹介やテーマを設けての座学研修とワークショップを行っています。コロナ渦で一旦中断はしましたが、本年度から再開しています。特にワークショップに重点を置き、顔の見える関係作りに努めました。参加者からも好評で、今後も続けてほしいとの意見も多く、圏域内でのリハ専門職の繋がりを感じています。

写真１

今年度の事業内容としては、フレイル予防の講演（写真1）、住民主導型介護予防事業「鬼石モデル」のポイント指導を中心に、必要に応じて介護予防サポーター養成研修への参加を行っています。地域ケア会議も全ての自治体で開催され、リハビリテーション専門職として参加しています。

自治体のイベントにもブース出展しています。11 月 17 日（日）には南牧村の農業祭に介護予防コーナーとして「てんとう虫テスト」の実施と介護予防相談を実施しました（写真2、3）。

写真２

甘楽町では、令和 3 年より群馬県の実証事業として「オンライン通いの場」を県内で初めて開始しています。「オンライン通いの場」とは、スマートフォン通話機能を活用し、自宅から参加できるオンライン上の通いの場です。開始当初は使用方法の説明で多少時間を要しましたが、現在まで月 1 回のペースで実施できており、1 回の参加者は 10 人程度です。その都度テーマを決めて、介護予防に関する内容を座談会のように開催しています。参加者からは笑顔あふれる会話も多く、概ね好評です。

広報誌であるニュースレター「のぞみ」は年 2 回発行し、富岡地域医療企業団ニュース「お元気ですか？」に差し込み資料として地域の皆様にお知らせしています。

新型コロナウイルス感染症が感染症5類に分類されて以降、徐々にではありますが、介護予防事業も人との交流を含めた活気が戻ってきているように感じています。いよいよ 2025 年となります。支援センターとしても引き続き、地域との協力体制を強化していきたいと考えています。

写真３

都道府県リハビリテーション支援センター会議

群馬県地域リハビリテーション支援センター長　山路雄彦

2024 年 11 月 7 日(木)に都道府県地域リハビリテーション支援センター会議がオンラインで開催され、群馬県地域リハビリテーション支援センター長として出席いたしました。この会議は例年、「リハビリテーション・ケア合同研究大会」の期間中に開催されていましたが、コロナ渦の影響で現在までオンラインで別日程での開催となっています。会議の内容は、①大分県の地域リハビリテーション支援体制の紹介、②都道府県地域リハビリテーション支援センター間の今後の連携についてでした。

現時点での全国の地域リハビリテーション支援事業の状況は右表の通りです(地域リハビリテーションの効果的な提供に資する指標開発のための研究(令和 4 年)より)。この事業が継続されている都道府県は 31 件、地域リハビリテーション支援センターの設置が 22 件、地域リハビリテーション広域支援センターの設置が 21 件でした。体制が整備されている都道府県では、市町村の地域リハビリテーション活動支援事業の実施が有意に多く、PT の市町村地域リハビリテーション活動支援事業への派遣が有意に多いことが報告されています。

都道府県	地域リハ支援センター	広域支援センター	都道府県	地域リハ支援センター	広域支援センター
北海道	○	○	滋賀県	○	
青森県			京都府	○	○
岩手県	○	○	大阪府		
宮城県	○	○	兵庫県	○	○
秋田県			奈良県		
山形県			和歌山県	○	○
福島県	○	○	鳥取県		
茨城県			島根県		
栃木県			岡山県		
群馬県	○	○	広島県	○	○
埼玉県		○	山口県		
千葉県	○	○	徳島県		
東京都		○	香川県		
神奈川県	○		愛媛県		
新潟県			高知県		
富山県	○	○	福岡県		
石川県	○	○	佐賀県	○	○
福井県	○	○	長崎県	○	○
山梨県	○		熊本県	○	○
長野県			大分県	○	○
岐阜県			宮崎県		
静岡県	○	○	鹿児島県	○	○
愛知県			沖縄県		
三重県			合計	22	21

日本転倒予防学会第 12 回学術集会(高崎)

第 22 回群馬地域リハ研究会で講演される梅原里実先生が大会長です。
是非ともご参加頂けるよう心よりお待ちしております。

群馬県地域リハビリテーション支援センター事務局便り

(2024 年 4 月～2024 年 12 月)

6/18　令和 6 年度地域リハビリテーション講演会中止
8/6　令和 5 年度群馬県地域リハビリテーション事業報告書作成/発送
11/7　都道府県リハビリテーション支援センター会議(オンライン)出席
12/12　ニュースレター43 号発行

編集デスク
山路雄彦
山上徹也
角田祐子
発行
群馬県地域リハビリテーション支援センター
https://www.grsc.biz/
Tel/Fax:027-220-8966